

# フィリピン台風 被災地福祉支援 ニュース No.3

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会(国際部)  
〒100-8980  
東京都千代田区霞が関3-3-2  
新霞が関ビル  
TEL: 03-3592-1390  
FAX: 03-3581-7854

2014年12月18日

## 新たに4団体への追加助成を決定

12月9日、第2回フィリピン台風福祉支援委員会を開催し、現在3団体に対して進めている助成に加え、新たに次の4団体に助成を行うことを決定しました。今後は、費用の明細等を確認・精査し、助成金の送金を進めてまいります。

### ■ 新たな助成先・助成金一覧

	助成先団体	助成内容	助成予定額 (ペソ)	助成予定額 (円・見込額)
1	RGS	多目的センターの建設、女性・児童へのアドボカシー	3,824,398.32ペソ	10,708,315円
2	聖ヴィンセント・フェレール教区教会	就労支援のための生活センターの建設	1,764,764.00ペソ	4,941,339円
3	カンルンガン・サ・エルマ・ミニストリー(KSEM)	被災児支援のためのリソース・センターの建設	2,000,000.00ペソ	5,600,000円
4	ACCAP	里親を育成・支援する専門職の研修	388,000.00ペソ	1,086,400円
	合計		7,977,162.32ペソ	22,336,054円

(助成はペソ建てで実施。円金額は1ペソ=2.8円として計算)

### ■ 助成対象事業の活動地域



- ① パナイ島
  - ・愛徳姉妹会(離島)
  - ・聖ヴィンセント・フェレール教区教会
- ② セブ島
  - ・サレジオ会
- ③ レイテ島
  - ・セントロ・エスコラル大学  
(レイテ・ノーマル大学への支援)
  - ・カンルンガン・サ・エルマ・ミニストリー(KSEM)
- ④ サマール島
  - ・RGS(離島)
  - ・ACCAP

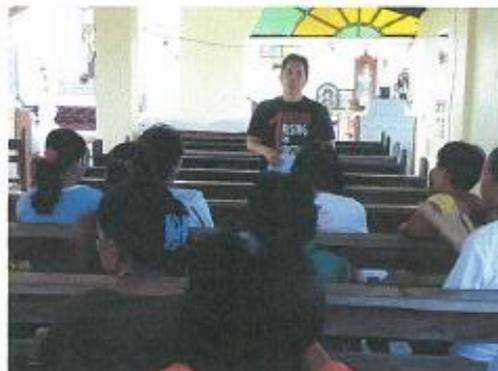
※下線は新たに助成を行う団体

# 新たに助成を決定した4団体の活動内容

## ①RGS(アジア研修31期生・グレースさん所属)

東サマルの離島に多目的センターを建設し、次の支援を実施する。

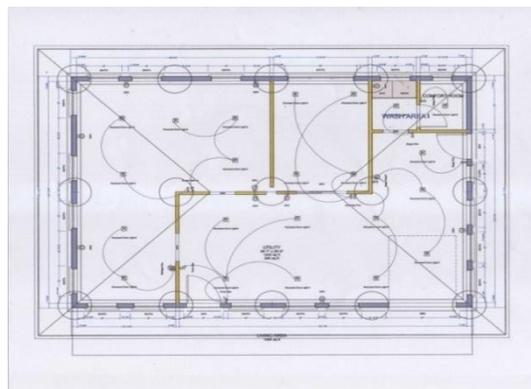
- ・ 児童・女性のアドボカシー活動、活動の推進者を育成するための研修
- ・ 地域の集会等、島民の日常活動の場の提供
- ・ 災害発生時の島民の避難所の提供



## ②聖ヴィンセント・フェレル教区教会(アジア研修17期生・カッチさん他の紹介)

パナイ島沿岸地に生活センターを建設し、被災地に対する次の支援を実施する。

- ・ 地元で採れる藻類や魚を貯蔵・乾燥・加工等の実施による就労支援
- ・ 女性や学校に通えない状況にある子どもを対象とした職業訓練・技術指導



## ③カンルンガン・サ・エルマ・ミニストリー(KSEM) (23期生・ウィルマーさん、28期生・メラニーさん所属)

レイテ島の2つの小学校にリソース・センターの建設を行い、次の支援を実施する。

- ・ 書籍・教材・玩具等を活用した子どもの能力開発
- ・ 被災児がトラウマから立ち直るための支援
- ・ 学校に通うことができない子どものための教育プログラムの提供



#### ④ACCAP(アジア研修17期生・カッチさん所属) ※フィリピンの72の児童養護施設が加盟する協議会

サマル島で、被災児を養育する里親の指導者を対象とした研修を実施する。

- ・行政職員、ソーシャルワーカーなどを対象にした継続的な指導者研修
- ・里親による被災児への適切なケアが提供するための情報提供



第1回委員会（6月18日開催）で承認されたセントロ・エスコラル大学、愛徳姉妹会、サレジオ会の3団体への助成は、各団体からの申請内容の確認が終了し、一部を除いて送金が完了しています。なお、リエゾン（現地連絡員となっている修了生）の活動費についても送金手続きを進めています。

第1回・第2回委員会で決定した7団体への助成額の合計は約4,600万円となり、募金総額の9,200万円の約半分が平成26年度の助成事業で執行されることとなります。

## 平成27年度以降の助成方針を決定

第2回委員会では、第1回委員会で決定した「現地の支援活動の状況・支援の必要性等を勘案し、概ね3年を目途に」助成を行うという方針に沿って、平成27年度および28年度も継続支援を行っていくことを確認しました。

具体的には、平成26年に助成を決定した先団体（計7団体）が、助成により建設したセンター等を活用して行う生活支援などを主な対象とし、活動を継続していくうえで支援が必要か否かを助成先に確認して継続して助成することとしました。（継続支援の申請をしていたら、委員会で審査することに変更はありません。）

また、被災地で活動する日本の民間組織・団体で、全社協と関わりが深い組織・団体への助成をとおして被災地支援活動を充実していくことを確認しました。

今後も、関係者の皆さまからお寄せいただきました募金を、現地の被災地支援のために有効に活用させていただきます。



## 委員交代のお知らせ

有山達也委員（埼玉県社会福祉協議会前事務局長）が退職により委員を退任され、11月より、さいたま市社会福祉協議会の都倉正敬 常務理事が委員に就任されました。